

市政も国政も変えなきや暮らしは守れない

日本共産党演説会で橋爪市議候補が決意表明

日本共産党演説会が29日、リージョンプラザで開催されました。市内各地から集まった聴衆は約3百人、4人の市議候補の全員当選と衆院北陸信越ブロックでの議席奪還めざし、熱気あふれる演説会となりました。

4人の市議候補の決意表明で最後に登壇したのは橋爪さん。「一番最後に出てくる候補はいい男だと思っただけではありませんか？」と切り出すと、会場から「いい男だよ」と声がかかりました。橋爪さんは、「この3年間の市議活動でわかったのは、市民

の暮らしを守るには市政だけでなく国政も変えなきゃだめだということだ」とのべ、農政の転換を訴えました。また、入院中のお父さんの退院後の施設探しで難儀しているという話は共感を呼びました。この日、司会をしたのは今限りで引退する杉本市議です。同市議は、「橋爪さんは多くの他党派議員から必ず戻ってきてと声をかけられている人です。必ず当選させるために、吉川区のお知り合いにぜひ支持を頼んでください」と訴えました。

選挙は政策や人柄で選ぶもの

…デマ宣伝は選挙を汚します…

吉川区と上越市の将来がかかった大切な選挙です。自分の政策を語り、有権者の審判をおおぐのがあるべき選挙の姿でなければなりません。

ところが「現職は共産党だから金が来ない」などの宣伝がどンドンやられています。住民の皆さんからは、「デマや悪口が多くてうんざりだ」「橋爪さんも黙っていないで言い返してくれない」などといった声がいくつも寄せられています。

反撃ビラ、ぜひお読みください

それで、「くらしと地域を守るのは やっぱり橋爪のりかずさん」というタイトルの大型ビラを作成しました。ぜひ読んで支持を広げてくださいますようお願いいたします。



壇上で声援にこたえる市議候補と衆院選候補。橋爪候補は中央。

シリーズ「橋爪市議の3年間」 その③ 義務教育での負担軽減実現

橋爪さんの所属する常任委員会は文教経済委員会です。テレビ中継されないので、画像でお伝えできませんが、ここでも論客ぶりをいかに発揮してきました。

小学校や中学校における保護者負担は増えるばかりです。橋爪さんはPTAや学校後援会から支出されているもののなかに先生方の研修費など本来、公費で負担すべきものが入っていることを何度も問題にしました。道理のある主張は市教委を動かし、ついに、「義務教育における寄付行為についての基準」がつけられました。この結果、学校への寄付はしてもいいものとしてはならないものと明確に区分されることになりました。

橋爪さんはまた、通学路の防犯灯設置や学校災害対策などでも奮闘しました。一例をあげると、「女子生徒が危険を避けるため、夜道を自転車に乗って大声で歌いながら通っている姿を見た。早く防犯灯をつけてください」という住民

からの訴えに、橋爪さんはその夜、暗い道を歩いて確認。翌日には市役所に防犯灯設置を求めました。

橋爪さんは、一度は教師を目指したこともある人です。教育の充実や子どもたちの安全をとりあげる時には力が入ります。



ユキワリソウの中の「夕鶴」という品種

橋爪のりかず後援会ニュース
発行：日本共産党吉川区後援会
2008年4月 NO 11
電話548-3628

部内資料

このニュースは選挙前はもちろん、選挙期間中もみなさんにお届けすることができます。安心してお読みください。